

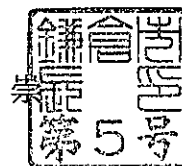
鎌総第1880号

令和8年(2026年)10月16日

鎌倉市議会議長

日向 慎吾 様

鎌倉市長 松 尾



文書質問への回答について

標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。



事務担当

総務課総務担当 (内線2242・2243)

議会受付番号	文書質問第 14 号
質問者	岡田 かずのり 議員
答弁する者	市長 (都市政策部 深沢地域整備課)

文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第 7 条第 3 項の規定に基づく文書質問第 14 号の質問について、次のとおり答弁いたします。

1 質問の内容

湘南スペースパークの候補地として深沢を三菱電機に提案・協議しているか。又どの街区なら共有設備など受け入れられるか。時期的には話しを進めるよいタイミングと思うが、どうか。

2 質問の理由

深沢の JR 工場跡地を含む近隣の開発計画は遅々として進んでいないように見える。ここに職住近接の人工衛星産業などの関連部門や産業などの拠点を誘致し鎌倉市税収の一助とし、増加する一方の福祉財源等に資するため。

3 答弁

本市の新たな都市拠点として整備を進める深沢地区のまちづくりは、区画整理により道路等の都市基盤整備を進めるとともに、まちとして持続的に発展し続ける仕組みづくり、例えば、土地利用や機能集積等にも並行して取組むことが重要と考えております。

特にご質問の企業誘致については、機能集積・持続的な発展に大きな影響を及ぼすと考えていることから、市では、深沢地区のまちづくりに興味・関心を有する企業等を対象として、企業連絡会を設置する等して、深沢地域整備事業に係る情報提供を行うとともに、面談希望のある企業に適宜対応しておりますが、現時点で三菱電機株式会社も含め、個別の企業と具体的な協議等を行うに至ってはおりません。

一方、企業誘致を行うにあたっては、土地区画整理事業の施行者である UR 都市機構が譲渡する保留地（土地）を企業に取得していただいたうえで整備していただく必要がありますが、現時点で保留地の位置や譲渡時期等は定まっております。

今後、土地区画整理事業に係る基盤整備の進捗状況等に合わせ、また、鎌倉市深沢地区まちづくりガイドラインに示すまちコンセプト等を踏まえながら、引き続き、深沢地区の

まちづくりに興味・関心を有する企業等との面談や有用な情報の収集に取組み、その方向性を定めていきたいと考えています。三菱電機株式会社においても、この中で対話を行い、本市のまちづくりを進める上で、継続的に協力していただける可能性を見据えながら、企業誘致に取り組んでまいります。